

「あすなろ」便り

No.67

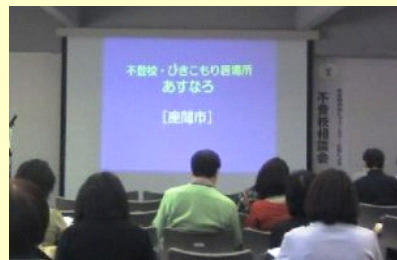
2010.2.18

発行:あすなろ
Tel: 046-254-2005



第9回神奈川県学校・フリースクール連携協議会・不登校相談会に出席

1月30日(土)横浜の県立青少年センターで、県学校・フリースクール等連携協議会と不登校相談会が開催されました。協議会では各地区等の連携に係る取り組みについて、「あすなろ」は昨年9月17日のうどん打ち会の時に座間市適応指導教室「つばさ」と小田原市のCLCA(子どもと生活文化協会)との交流の様子を報告しました。



午後の不登校相談会で最初は「不登校を経験した子どもや親による座談会」が行われ、現状や困難を乗り越えた様子など話して下さいました。後半は各ブースに分かれて個別相談が実施され、「あすなろ」のブースには、3組の相談者が訪れました。不登校の家族が抱えている悩みや、最近の傾向として発達障害をもっている不登校のお子さんがいることなど、お話を伺いました。「あすなろ」としてできることは、親子ともに何とか元気になってもらえるように、あすなろの家に来て、おしゃべりをしたり、農作業やパソコン・ゲーム等をやって、気持ちが少しでも、楽になってもらえればと願っています。

あすなろの家が「ペンキ」でお化粧しました



「ヒヤー ペンキが顔にくっついた。」

と、悲鳴が上がります。手足や洋服にくっついて大騒ぎにぎやかなペンキ塗り風景です。

「この次に来る日はペンキ塗りをするので、ペンキがついてもいい服装でおいで」と駄目押しされているので、天気はいいし 逃げられない。着替えて作業開始。始めれば結構楽しい仕事で、窓枠・濡れ縁・足踏み台などと、手がよく動いています。



4・5年前に屋根のペンキ塗りをスタッフ一同でやりましたが、高齢化の波に洗われ、事故の危険もあり、今回は残念ながら専門家に任せることにしました。

余裕のない団体ですから、屋根だけは塗装家さんに頼み周囲はみんなで塗ることにしました。児童・生徒さんと女性スタッフでは心もとないものがありましたが、男性Bさんの協力で高い所までもきれいに見事に塗り上がりました。専門家なら1から2日の仕事でしょうが、何日もかかり大変な仕事でした。ボランティア活動には、このような方や地域の方の協力がいかに大切かと切実に思います。

あすなろの畑の端に**ふきのとう**がたくさん芽を出しています。

ふきのとう(落の臺)は、山菜の中でも、早くから芽を出し「春を告げる山菜」として知られています。可憐な落のとうのつぼみは寒さに耐えられるように、幾重にも苞でおおわれて、雪国では残雪の下から芽を出す萌黄色は春の来たことを知らせてくれます。

